

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画道路3・2・25号下花輪駒木線道路改良事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	小野 満寿夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・道路利用者	意図	市民や利用者の安全及び利便性の向上を図る。
事業内容	本路線は、つくばエクスプレス沿線整備地区の埼玉県・千葉県・茨城県を結ぶ広域的な幹線道路であり、このうち区画整理区域を除く大畔地先について、千葉県が事業主体として整備するものである。 (県が施行する街路事業への市の負担金) 延長L=741m			
事業開始から現在までの状況変化	本路線は、つくばエクスプレスと並行して、その沿線整備地区の埼玉県、千葉県、茨城県を結ぶ広域的な交通網を形成しており、沿線開発に合わせた整備が求められ、千葉県施行により平成15年度に事業認可を受けた。当該区間については、平成30年度に事業期間延伸と事業費の変更に係る事業認可変更を行い、令和5年度の供用開始を予定している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備率	69.40	69.10	63.60	%	↑↑↑	83,553,213円/131,272,000円(執行済額/全体事業費)
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 県は、平成30年度から茂侶神社付近の道路築造工事に着手している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,614,400	11,952,856	22,538,352				
事業費(b)(円)		1,065,200	8,596,856	19,242,352				
うち一般財源		1,065,200	2,196,856	19,242,352				
職員給与費(c)(円)		549,200	3,356,000	3,296,000				
人役・職員(人)		0.08	0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事業進捗に合わせた適正な予算措置。	③取組における課題(Check)	事業の執行体制及び進捗状況の把握。
②H30に実施した取組(Do)	事業進捗のための県との意見交換。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	効率的な事業執行に向け、県と意見交換に努める。